

JFSC 初代会長 関本忠弘氏を偲んで

2007年11月11日にJFSC初代会長の関本忠弘氏が逝去されたことが報じられた。80歳であられたとのことである。

関本氏は日本電気株式会社社長・会長、経団連副会長や数々の意見・評論の発表などであまりにも有名で私などがお近づきになれるような方ではなかったのだが、たまたま1995年の末にAIAAからAIAA通信衛星システム国際会議(ICSSC)を日本で開催しないかという打診を受けたとき、関本氏に組織委員会委員長を引き受けて頂ければ成功できるとの見通しの下にお願いに行き、快くお引き受け頂いたのがお付き合いのはじまりであった。32年間のICSSCの歴史の中で北米以外で初めて開催される地として我が国が選ばれたものであったので重要なイベントであった。

関本氏は1960年代中期にCOMSATにおいて衛星TDMA方式の研究を実践・指導されたことは有名であるが、その後ずっとAIAA会員として、特にアジア地域での代表として活躍されてきたので、ICSSCでは組織委員会委員長は適任であると同時に我々実行部隊としては成功間違いなしと大船に乗った感じで進めることができた。事実、第17回ICSSCがパシフィコ横浜で開催され、参加登録者数、展示への来場者数とも予想をはるかに超え成功裏に開催することができた。このときの組織委員長挨拶、レセプションでのご夫妻のご出席など会議を大いに盛り上げて頂いたことが強く印象に残っている(写真上)。第17回ICSSCは大成功で開催できたため、AIAAではその後、海外でのICSSCの開催を隔年に日本(アジア)とヨーロッパで交互に行うこととしたほどである。

このようにAIAA第17回ICSSCが成功裏に終わったことを受け、このとき結集した衛星通信関係者が纏まって活動できる基盤を作るために、関本氏を初代会長としてAIAA-JFSCが1999年2月に発足し、Space Japan Reviewの発行などの活動が順調に始まり、その活動は今日に至っている。関本会長には総会のおときなどご出席賜り、我々とも親しく懇談の機会を持って頂けた。また、JFSCの活動の一環としてAIAAのアワードを推奨することも行っているが、写真下はJFSC現会長の平田康夫氏が2004年にAIAA Aerospace Communications Awardを受賞されたときのもので、関本氏は本賞を1992年に受賞されている。

実は私は2007年10月下旬に都内のあるホテルのロビーで関本さんのお姿を遠くから拝見した。杖をついておられ幾分お年を召されたという感じはしたが、しっかりした足取りで車に乗っていかれた。まさかその半月後にお亡くなりになるとは想像もしなかった。皆様とともにお世話になった関本氏のご冥福を謹んでお祈りします。

(筆者：JFSC 特別顧問 飯田尚志)



開会式控えの間で中谷 元郵政政務次官(当時)(左)と談笑される関本氏(中央)、右手前は古濱洋治通信総合研究所長(当時)



我が国のAIAA Aerospace Communications Award受賞者：右から平田氏2004年、関本氏1992年、飯田2002年